



## 高松市議会 News 第34号 香川洋二 無所属&獣医師

### ★女性市議出産による本会議等欠席可能に。同日付施行

高松市議会6月定例議会は7月10日14億7909万円の2015年度一般会計補正予算案(補正後1616億7909万円)など当初提案の25議案、追加人事案件3議案、議員提出の市議会会議規則の一部改正案の計29議案を原案通り可決。特に女性市議が出産を理由に本会議や委員会を欠席できるよう市議会会議規則の一部を改正し、同日付施行。8日の総務消防調査会では空き家の適正管理に関する条例の骨子提示。倒壊の恐れや衛生上の問題がある「特定空き家」の未然防止等適切な管理を求め9月議会での成立を目指す。また、今議会から導入した手話通訳の配置制度を初めて実施した。

### ★平成30年から高松第一高校全面改築・設計事務所決定

高松市立第一高等学校の新校舎改築が平成30年開始予定。それに伴い設計事務所が公募型プロポーザル方式で基本設計委託先を15社中(株)日本設計に決定。提案には多様な授業を可能とするラーニング・ラボを導入。ディス



カッション型グループ型など多様な授業形態が可能。今後のスケジュールは平成28年に実施設計。旧体育館解体までの最終

スケジュールは平成33年となり、基本構想での概算事業費は約80億円を予定。なお、シンボルのソテツは新正門(仮称)へ移築植栽の予定。

### ★提案・国際バカロレア課程 多様性の高松一高近未来像

6月議会質問は5分野20項目。教育問題では高松一高の近未来像として国際バカロレア課程導入を提案。国際バカロレア(IB)とは国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する国際的教育プログラム。1968年チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解し、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確保することが目的。現在、世界140以上の国・地域、4,211校で実施。我が国の認定校は34校。政府は教育の国際化対応のため「日本再興戦略-JAPAN is BACK-」(平成25年6月閣議決定)に基づき、国内における国際バカロレア



認定校(ディプロマプログラム)を2018年までに200校までに大幅増加させるとしており、高松一高が難関のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)を再度認定されたことから一高の多様性ある近未来のあるべき姿と

して質問。松井教育長は「種々の課題もあり国の動向も踏まえ研究したい」と答弁。大西市長は非公式ながら私のFB上で「よい問題提起」と評価。画像は国内初の公立高校でIB過程を導入した東京都立国際高校(6月18日撮影)

### ★医師確保/寄附講座拡充を

医師確保のため本市では香川大学医学部に寄附講座を設け教授相当1名、助教相当2名の医師を塩江分院・香川診療所へ派遣。しかし、新病院開院時の予定医師確保は厳しい。そこで、近隣大学医学部への寄附講座拡充による協力体制構築を提案。塩谷病院事業管理者は「提案の近隣大学医学部への寄附講座拡充を含め、あらゆる手段を講じ、医師確保を図りたい」と答弁。平成28年度予算に拡充施策として計上されることを望む。

## ★竹本恵一校長/教育民生常任委員会で力強い経営決意

教育民生常任委員会で高松一高改築に当たり、竹本校長の経営方針確認のため出席を求めた。明瞭な答弁を得たので全文掲載。

校舎改築における校長としての考え方は次の3つのことを目指せる方向にしたい。

- ① 高松市の発展をリードしていける人材を育成する。これは例えば、高松市と世界を結ぶことができる人材。あるいは、高松市に新しい取り組みを持ち込んでくるような人材。また、高松市の文化を向上させるような人材。そういうものを育てられるようにしたい。
- ② 市内の小中学生に夢をもたせることができる高校にしたい。小中学校でまじめにがんばっている生徒たちが一高でその力を開花できる。あるいは、勉強だけでなく部活動にも積極的に取り組める。そういう高校でありたい。
- ③ それら(①と②)を通じて全国に高松の教育を発信できる高校でありたい。

## ★教育委員会HP早急な改善

新教育委員会制度が4月からスタート。HPは主要情報源。現在各担当課がバラバラに掲載。教育委員会定例会会議録は翌月定例会で全委員了承後掲載。定例会は原則公開で同日公開があるべき姿。公開が市民協働の土台。姉妹都市セントピーターズバーグ 市所轄のピネラス郡教育



委員会は定例会動画等を常時配信。また常時傍聴と市民のプレゼンが可能。答弁は広報改善を行うとした。PCSホームページアドレスは下記。  
www.pcsb.org/site/default.aspx?PageID=1

## ★6月一般質問(7月6日)

### 1 経済問題について

- (1) 高松市伝統的のものづくり振興条例制定後の振興策と考察
- (2) 高松市伝統的のものづくり振興条例に基づく本年度重点的取り組み
- (3) マイ・ウルシ・カップ事業の取り組み
- (4) 平成21年に制定された高松市企業誘致条例制定後の助成制度における指定企業の累計件数と内訳並び、ここ3年間の指定企業の件数
- (5) ニッチ企業の育成に対する考え
- (6) ニッチ企業育成のための本市並びに香川県・民間団体・大学など産学官連携の現状
- (7) 本年の高松メディアアート祭の事業内容
- (8) 知的創造サービス業を行う事業所の助成要件に該当する事業所の現況
- (9) 本年度の高松メディアアート祭のプレイベントの反省と感想。来年度の企画方針

### 2 医師確保について

- (1) 医療職給料表導入による改善状況と今後の医療職処遇改善に対する考え
- (2) 研修医確保のため研修医助成制度、また、医学生に対する奨学金制度創設について
- (3) 医師確保のために寄附講座等を近隣大学に拡充する考え

### 3 公務員獣医師の処遇改善について

本市公務員獣医師の処遇は職務内容と責任にふさわしい医師等に準じた独自の給料表を創設し適用する考え

### 4 教育問題について

- (1) 新教育委員会制度発足に当たり市長の本市教育に対する考え方。また、全国市長会・社会文教委員長として、どのような方向性を全国市長会では目指しているのか。
- (2) 教育長は、新教育委員会制度になり、どのような教育委員会運営を目指すのか
- (3) 教育委員と市長による第1回総合教育会議の内容と今後の運営
- (4) 教育委員会ホームページで市民・保護者に教育方針等について、画像等を活用し、いつでもわかりやすく情報を得ることができるよう広報部門を強化改善する考え

### 5 高松第一高等学校の近未来のあり方

- (1) グーグル本社を訪問した生徒たちの感想
- (2) 平成26年度までのスーパーサイエンスハイスクールの研究成果
- (3) 高松第一高等学校で国際バカロレア課程の導入を検討する考え